

GS

No.791
2017
10

■ 巻頭企画 【新シリーズ】POD活用先進企業を訪ねて

意識を変えたモノクロオンデマンド印刷機 机上の計算以上のメリットもたらす

オフセット印刷からオンデマンド印刷に転換
——アート印刷(株)/香川県支部

■ 特別企画

台湾旅行記

東グラ・青年部FACE有志20名余、現地印刷会社も視察!

個人情報漏洩事故の傾向と注意点

■ 連載・シリーズ

ジャグラコンテスト第1次審査課題解説④

温孔知新⑬

■ お知らせ

日本自費出版文化賞入賞作品決まる!

9.2-3 関東地協山梨大会に80名集う

日印産連 9.13 印刷の月 記念式典を開催

SPACE-21 9.30 全国協議会・岐阜に175名集う

11.10-11 ジャグラ全国協議会開催のご案内



C・O・N・T・E・N・T・S

● 巻頭言

01 カード印刷の通販に活路を開く

—— ジャグラー東京地協・中央支部長 中田逸郎 (株)研美社

● 巻頭企画 【新シリーズ】POD活用先進企業を訪ねて

02 意識を変えたモノクロオンデマンド印刷機 机上の計算以上のメリットもたらす

オフセット印刷からオンデマンド印刷に転換

—— 事例①：アート印刷(株) / 香川県支部

● 特別企画

05 台湾旅行記

東グラ・青年部FACE有志20名余、現地印刷会社も視察!

14 個人情報漏洩事故の傾向と注意点

平成28年度 JIPDEC報告書から

● 連載・シリーズ

18 ジャグラーコンテスト第1次審査課題解説④

問題4：自動表組みの制作

26 温孔知新

続編・第16回：80歳の現役謄写印刷名人をたずねて

—— 山形謄写印刷資料館 館長/中央印刷(株) 後藤卓也

● NEWSとお知らせ

10 日本自費出版文化賞入賞作品決まる!

—— 大賞に東京都・林照さんの『シベリア(三部作)』を選出

23 業界の動き

ジャグラー 9.23 山梨・石和温泉で関東地協大会を開催

日印産連 9.13 印刷の月 記念式典を開催

SPACE-21 9.30 全国協議会岐阜大会を開催

25 ジャグラー全国協議会開催のご案内

29 ジャグラーBB HOTNEWS

28 ジャグラー スケジュール表

カード印刷の通販に 活路を開く

ジャグラー東京地協・中央支部長
(株)研美社

中田逸郎

■ 会社員退職

学生時代はバブル全盛で、将来に対する不安など微塵も無く、バイトと夜遊び三昧の日々。大企業に就職し、トレンドードラマのような会社員生活を送るイメージで上場企業キーエンスに就職するも、間もなくバブル崩壊。いずれ家業の印刷業を継いで自営をしようという気持ちの甘さもあり、出世競争について行けず、会社でも徐々に生き残りが厳しくなっていく。結局平成12年、戦力外通告を受けるような形で逃げだすようにして家業の研美社に入る事に。その時30歳。妻と娘二人が居た。

■ ここでも厳しい現実が

—— 当社のルーツは祖父の代からで、紙箱を得意としており、オフセット印刷機だけでなくトムソンやサクマシンの設備も持っていた。ところが父の兄弟(男5人)が仲悪く、会社をバラバラに分けて行き、昭和58年に4男の父が得意先をもって一人で独立して起こした営業だけの印刷会社が当社である。本家の会社はバブル崩壊とともに廃業して消えて行った。

私は営業には自信があり、どんな業種でも少しばかりやれるつもりだったが、その現実厳しかった。儲からない仕事の値段交渉をするたびにこれでは先が無いと、藁にもすがる思いでインターネット通販のセミナーに参加。昼間も最低限の営業活動しかせず、ネット通販に活路を見出すべく、独学でホームページの勉強に没頭する。この時期、無邪気に遊ぶ我が子の姿を見て、このまま会社がつぶれたらこの子たちはどうなるのだろうと暗澹たる気持ちになる事も多かった。

■ インターネット印刷通販に活路を切り開く

平成12年、その頃は物販でこそネット通販は始まっていたが、印刷通販の業態はまだどこも確立できていない時期であった。自分で作ったホームページを立ち上げると、初日から印刷物の引き合いが来て驚いた。そして挨拶状印刷の通販で年末は日本全国から年賀状印刷の注文を受けるようになる。この挨拶状印刷サイトは、現在、挨拶状印刷通販のトップブランド「挨拶状ドットコム」のルーツである。中高同級生の(株)グリーティングワークス徳丸氏に挨拶状通販事業を引き継いでもらう事にした。そして当社は、よりニッチな市場性を持ち、付加価値が高いと踏んだプラスチックカードの通販事業に業態を転換、ICカードの発達・普及など、プラスチックカードの将来性に社運を賭ける決断をする。

■ 倒産の危機をギリギリで切り抜ける

狙い通りにプラスチックカード通販の売り上げは伸びて行った。だが、売り上げの3割を占めていたホテルアメニティ向けの菌ブラ



シの箱は次々 OPP の袋入りに変わって行き、平成16年にさらに売り上げの3割強を占めていた製薬会社が倒産した。この時は本当にヤバかったが、何とか資金繰りを切り抜け、その後はプラスチックカード通販事業を成長させて回復軌道に乗って行く。

■ 念願の東京進出

平成21年、ネット展開で首都圏の顧客が中心となって行く中、元々東京志向である私は念願とする東京営業所を開設した。当初は経費がかさみ、その翌年は赤字で資金繰りが苦しくなった。だがその後は東京進出の効果で順調に売り上げは伸びて行った。元々社員は家族しかいなかったが、同級生の友人を二人勧誘したのも含めて社員も増えて行き、少しずつ会社らしくなっていく。ちなみに私は営業所開設からずっと、都合丸々9年間、東京で単身生活を送っている。隔週で大阪に戻るサイクルだが、その間に3人目の末娘が生まれ、その子とは生まれてこの方2週間に一度しか会わない親子関係である。

■ 人材育成に苦勞する

社員は増えて行くが、やめて行く者も多かった。私の育成、マネジメント能力が足りないせいだった。そこでご縁のあったコンサルタントの力を借りる事にした。それ以降に辞めて行った社員は今のところ居ない。そのコンサルタントには2年くらいお世話になって、自社に社員を活かす風土が出来上がって行った。

■ 地力を上げる

当初はプラスチックカードを工場から仕入れて、そのまま横流しで販売する小手先の商売だった。時間は掛かったが設備投資を行いながら、製品技術力も高め、社員教育に力を入れて、当社の提供する商品サービスは質の高い価値のあるものだと自負を持っている。この4~5年で中堅のカード会社とは価格でガチンコ勝負出来る実力を持つようになり、顧客の7割は印刷会社、広告代理店、デザイン会社という中間業者である。

■ 苦手だった財務面を勉強中

最近まで決算書は、経常利益と繰り越し剰余利益しか見てなかった。もうそれではダメだと、今のコンサルタントは東京の税理士法人である。クラウド会計システムを導入し本社の顧問税理士も変えた。数字が見えるともた経営が少し面白くなってきた。

■ 売上10億、社員50名が目標

私の30代は重苦しく暗い時代だったが、40代は明るく生きがいのある日々が変わった。長かった債務超過状態から抜け出して、先期の期末で自己資本率が50%を超えて行った。これからは経営者として矜持にあふれる理想を実現して行きたい。

ここ数年間、社員の一体感を作り出す社内イベントを何度も企画している。新たな経営ビジョンも策定し、売上10億、社員50名の目標に向けて進んでいる。

.....新シリーズ：POD 活用先進企業を訪ねて.....

意識を変えたモノクロオンデマンド印刷機 机上の計算以上のメリットもたらす

～オフセット印刷からオンデマンド印刷に転換～

Report

事例①：アート印刷(株)/香川県支部

ジャグラ教育・技術委員会（熊谷正司担当副会長 / 宮崎真委員長）では、会員企業で導入の進むデジタル印刷機活用のため、POD ワーキンググループ（原田大輔リーダー）を組織して調査研究を進めていますが、その活動の一環として、POD 活用先進企業の紹介を本号より開始します。第一弾は香川県支部・アート印刷(株)さんの活用事例です。

（取材・文：ニュープリンティング(株)・菅野孝市専門委員）

×

集客用小冊子に活路を見出す

「オフセットの両面印刷機は動いていない状態ですよ。ほぼ置いてあるだけです。3年前までは生産設備として確かに動いていた。それが2015年12月にモノクロのオンデマンド印刷機を導入するとぱったりと止まった。

香川県支部のアート印刷(株)は、社長を含めて7名の規模。十河尚史社長が入社した1987年、主要業務は官公庁の頁物印刷だった。

「入札に走り回っていましたが。でも価格競争力がなくて、入札価格が下がっていく。こんなやってられないと正直思っていました。官公需主体から抜け出そうと試行錯誤を続けたものの、良い方策は浮かんでこない。現在の主力業務『集客用小冊子』の契機は、入社10年後、香川県で学習塾5校を展開している経営者からの相談だった。

地元では有名な学習塾だったが、年々、チラシでの集客効果が下がっていた。「小冊子で塾の良さを知ってもらいたいので手伝って欲しい」という相談でした。本のタイトルは決まっています、『失敗しない高校入

著書を手にするアート印刷(株)・十河尚史社長



試』。でも原稿はありませんし、書けないとのことでした。十河社長が提案したのは、塾生の父母20～30人を集めた講演会の実施。収録した講演内容を原稿化し、打ち合わせを重ねて手を加え、校了した。

出来上がった小冊子は、四国新聞の広告で発行記念として50名に贈呈すると告知。塾には1日目に300件、2日目に200件の問い合わせが寄せられた。

「こんなに反応があるのなら商品化しようと地元の中小企業同友会の仲間に話したら、色んな人から小冊子の原稿ができたなら嬉しいという声を頂きました。ラッキー、と思いましたが、1年経っても2年経っても連絡が来ませんでしたね。中小企業経営者、個人事業主の多くが、その業界・業種の知見を文章で表現することができなかったのです。



カメラでPODのパネルを監視する工夫も



ホリゾンの無線綴じ機



同社設備のコニカミノルタ bizhub PRESS 1250P

インターネット環境が整い始めた2002年、十河社長は学習塾での手応えを形にしようと集客用小冊子専門のサイトをオープン。自身が執筆した集客用小冊子『小さなNo.1を小冊子でつくれ』を紹介し、ホームページで資料請求を募った。『小さなNo.1を小冊子でつくれ』は、十河社長自身の経験に基づいた、執筆のポイントや手順、ライターの利用方法などをまとめている。それを読んだ不動産会社からの受注を手始めに、東京や大阪など県外の治療院、会計事務所、エステティックサロンの経営者から原稿が送られてきた。

「小冊子は良い集客手法なんだと自信を持つことができました。学習塾の経営者と同じように、皆さん素晴らしい専門知識をお持ちです。でも、表現する方法が分からないのです。その後、『集客用小冊子』の

業務は急増し、入社当時8割だった官公需の売上比率は、3割程度にまで下がっていった。

きっかけはオペレーターの退職

『集客用小冊子』の平均ページ数は70ページ。ほとんどが本文モノクロ、表紙カラーのA5判サイズ。300部から500部がボリュームゾーンである。サービスを始めた当初は500部から1000部が平均ロットで、オフセット両面機で印刷していた。

「カラーオンデマンド印刷機は2004年に表紙印刷用に導入しました。だんだんカウンター料が下がっていきまので、モノクロの本文印刷でも利用するようになりました。それがモノクロのオンデマンド印刷機



同社が手掛けた集客用小冊子の数々

を入れた瞬間に変わってしまいました」

そのきっかけになったのが、30代前半のオフセット印刷機オペレーターの退職である。リフォーム業を営んでいる親戚が病に倒れ、事業を手伝わなければならなくなったのが理由だった。十河社長はオフセット印刷機の担当を引き継ぎ、自ら操作したところ全くうまくいかない。4年ぶりに触ったオフセット印刷機は濃度がなかなか合わず、ヤレ紙が大量に発生してしまった。

「こんなことをしている時代じゃない」と感じた十河社長は、モノクロオンデマンド印刷機の導入を検討し始めた。部数を基準にしたオフセット印刷機との損益分岐点を計算し、メーカーのショールームで品質や用紙適性を確認。最終的に大阪府支部の(株)登プリント・岩下登社長に相談し、自分の不安を全部伝えて、アドバイスをもらった。その一つが無線綴じ製本時に生じるウェーブである。

「岩下さんは、『それはなるでしょ。でも2年間で1回もクレームがないからお客様は全く気にしていないよ』と、背中を押して下さいました。2台の両面機も処分したとのことで、十河君のところもそうなりと仰っていたことが印象的でした」。

実際にモノクロオンデマンド印刷機を導入してみると、机上で計算した通りにはいかなかった。仕事のほぼ100%が部数に関係なく、PODに流れていく。

「オフセット印刷機はずっと人が見ていないと動きません。オンデマンド印刷機は無人で動くのですね。たまにDTPのオペレーターが確認するだけ。社員が夕方、帰宅してしまっても3~4時間ぐらい稼働します。社員は『社長、朝、紙をセットして』とか、『日

曜日に1回来て紙を入れておいて』と帰っていきます。オンデマンド印刷機は朝礼中も昼休み中も働きます。大きなロットは別ですが、結果的にPODの方が作業は早い。そこが計算できていなかったですね」。

小冊子で使う本文の用紙は、導入したモノクロオンデマンド印刷機に適した普通紙。用紙詰まりがほとんど発生せず、頻繁に用紙を変える必要がないことも無人運転を可能にした。

A5の小冊子はA3判(ワイド)に4丁付けで、ページ順に印刷。中央に表裏見当と断裁用のトンボを入れており、断裁するとページ順に並んだブックブロックが4冊分できる。このため、ペラ丁合機も今はほぼ動いていない。

「小さい会社なので、一人で何役もこなします。印刷が無人で、丁合の工程も削減されたことは非常に大きなメリットです。毎年、社員がヘトヘトになっていた年度末の残業はかなり減りました」。

小ロット冊子を基軸に新事業模索

オフセット両面印刷機の時間当たりの生産性はモノクロオンデマンド印刷機の4~5倍。しかし、版替えのたびに稼働は止まる。買物印刷の場合、その頻度も多く、ロット数が少なくなれば、稼働時間よりも停止時間が長くなることもある。モノクロオンデマンド印刷機は機械停止時間が限りなくゼロに近く、用紙をセットすればオペレーターが、常時監視していなくても印刷し続ける。

同社ではモノクロオンデマンド印刷機の操作パネルの前に、家電量販店でも購入できる低価格のカメラを設置。別室からでも機械トラブルが即座に分かるよう、稼働状況を監視している。

十河社長は、「印刷機を使わない社長はなかなか気づかないかもしれません。私もオフセット印刷機のオペレーターが辞めていなければ、机上で計算した通りに500部以上はオフセット印刷じゃないとダメダメと言っていたと思います」『集客用小冊子』という商材で新たな事業を作り、PODでその生産を効率化させたが、「地元のお客様は減っています。小ロットの冊子をキーワードに新しい事業を作っていこうと社員に話しています」と危機感を持ち続けている。

台湾旅行記

東グラ・青年部FACE有志20名余、
現地印刷会社も視察！



後列左端が大多和さん、後列右から3人目が齋藤さん

東京グラフィックス(東京地協)青年部FACE有志が、去る7月中旬、台湾を旅行してきました。短い旅程ながらも、観光だけでなく現地印刷会社視察も精力的にこなしたとのことで、参加メンバーであるインフォマネージ(株)・大多和剛さんと、(株)文化ビジネスサービス・齋藤秀勝さんに、その模様をレポートしてもらいました。(文責:編集部)

×

1日目

7月14~17日にかけて、FACEの有志と共に台湾に行ってきた。「大多和君も行くよね?」とお誘いを頂いたのは昨年12月、支部忘年会の2次会でのことだった。半年後の予定など分かるわけもなく、なんとなく楽しそうだったので参加させていただくことに。

月日はあつという間に過ぎ、渡航間際にはFBグループの投稿が大賑わいで、私の知らない観光地名が飛び交っていた。何を隠そう海外はオーストラリアにしか行った事がなく、それも10年前の話。取り敢えず何度も台湾に行かれている先輩の後について行けばなんとかなるかなと、自

分がどこに行くかも決めずに参加させていただいた。参加人数は20名。果たして、どんな旅になるのだろうか?

久しぶりの国際線で受付を済ませ、有志の待つ飲食店へ。早めに受付を済ませ食事する方、忘れ物を取りに帰る方、空港を見学する方など、各々が期待に胸膨らませながら、搭乗を待った。数時間後、降り立ったのは台北市の「台北松山空港」。空港からタクシーで10分程のホテルへ向かう。窓から見える景色はまさにジャッキー・チェンの映画の世界だったが、どこか日本の香りもする町並みだった。

ホテル周辺は繁華街のようで、コンビニやスーパー、バーなどが集う場所。近隣では夜市もあり、まずはそこから探索。今思えば小規模な夜市だったが、初めての体験だったため、これがアジアの屋台かと台湾ビール片手にウキウキ。30分程探索後、先輩お勧めのお店に皆で向かい、台湾料理を頂いた。食事が美味しいのはもちろんだが、一番驚いたのは、ビールは冷蔵庫から自分で持ってくるのが台湾らしく、精算時に空き瓶をカウントされるとのことだった。些細な事かも知れないが、異文化に触れる機会は日常では味わえないため、一つ一つの細かな違いが好奇心をくすぐ

現地印刷会社を訪問(詳細は7ページから)



る。明日はどんな出会い（日本との違い）があるのだろうか
と、胸をときめかせながら1日目終了。

2日目

この日からは各々が事前に決めていた場所へ向かう。私は朝5時半から行列になるという早杭豆漿で朝食を頂いた。フードコートのようなお店だった。台湾では食事は外で食べるのが一般的らしく、外食産業が盛んである。早杭豆漿はガイドブックに載っていることもあり、早朝から観光バスが乗り付けるなど、長蛇の列だった。ただ、テイクアウトも多いせいか、席は意外と空いていた。

その後、「龍山寺」へ。ここは創建約270年。台北で最も歴史のあるお寺であり、台北一のパワースポットらしい。土曜日ということもあるのか、朝から100人位の地元参拝者が一緒にお経の大合唱。異様な空間でもあり、どこか心地よく、穏やかな気持ちになれる場所だった。

午後は全員集合し、古い街並みで有名な九份へ向かうが、その途中で十分に立ち寄った。とても小さな町だが、ノス

タルジックで台湾らしさを感じさせる所で、願い事を書いた天燈をあげられる場所として有名とのこと。健康、金運、仕事運、勉強、恋愛運などの願い事を書き、天燈を空へ放つ。そこは世界中の人々の夢と笑顔で満ち溢れた、とても幸せな空間だった。

だがここで事件が起きた。通常、天燈はスタッフの方に火をつけてもらい、一発で上空に放つのだが、とある製本会社のN先輩の天燈が記念撮影中に火が回ってしまい、まさかの打ち上げ失敗。当日は晴天、ほぼ無風であり、周りを見渡しても一発で放っていたので、観衆がザワザワ。慌ててスタッフの方がじょうろで消火。気を取り直し、再挑戦。今度は上手く飛び立つか、皆の視線が集まる。天燈に火をつけ、慎重に打ち上げるが、突如突風が吹き2m上空で柱に当たり、燃え尽きた。願い事はかなうのか……、皆が心配するなか、3度目のトライ。もう周りで打ち上げている人はいない。天燈は雲一つ無い青空に飛び立って行った。通常はいくつもの天燈が上空に放たれているため、どれが自分のか分からなくなりそうなのだが、皆その天燈に注目していたため、空には皆の思いと先輩の願いを乗せた天燈一つだけ。とても幻想的な一時だった。

その後、名所九份で映画の世界を堪能し、夜は台湾一の夜市「士林夜市」へ。「士林夜市」は台湾の勢いをまざまざと感じさせる光景だった。とにかく人が多い。子供から大人まで夕食や買い物をする人々で大賑わいだった。イメージとしては上野アメヤ横丁のような所である。お土産や雑貨、射的、海老釣り、服など様々なものが売っていた。また、食事がしたい人は地下美食街で楽しむ事ができる。

次なるトラブルは私にやってきた。日本で携帯電話用にモバイルWi-Fiを借りてきたのだが、この日はホテルに忘れ、ホテル同室の仲間に一緒に使わせてもらっていた。基本、モバイルWi-Fiがなければ、皆と連絡が取れなくなってしまうため、常時誰かと一緒に行動してきたのだが、「士林夜市」に魅せられ歩き回っていた私は、気がついたら、一人ぼっち。初めは、「まあ、すぐ誰かと遭遇するだろう」と呑気に探索していたのだが、周りとはとにかく人だらけで、広さは台湾一。30分位(体感はずっとだが)歩き回り、やっとホテル同室の仲間に遭遇。何事も無かったかのように声を掛け一安心。話を聞くと私の事を心配してくれていたらしく、迷惑をかけてしまった。

一通り夜市を堪能したので彼のモバイルWi-Fiを通じて皆と合流しようとしたが、運悪く充電が切れており、今度は二人で仲間探しをすることに……。3~40分程探し回ったが見つからない。見知らぬ日本人のカップルに声を掛け、モバイルWi-Fiを貸してもらえないかをお願いしたが、持っていないとの事。諦めてタクシーでホテルに帰ろうかと話をしていたところ、FamilyMartを発見。日本でこの公衆無線LANを利用した事があると思いアクセスしたが、中国語で何を書いてあるのか分からない。半べそ状態で店員さんに片言の英語で尋ねたところ、なんと、店員さん個人のスマートフォンからWi-Fiを利用して良いよとのこと。お陰様で皆と連絡をとることができた。台湾人は日本人のように優しいと聞いていたが、日本人でも見知らぬ外人に個人の携帯情報を提供してくれるだろうか？台湾の優しさに触れる貴重な体験だった。店員さんに感謝を伝え、くたびれた顔で仲間と合流し、皆と一緒にホテルに戻ることができた。

3日目

この日も皆さん様々なところへ。新幹線に乗り台南に向かう強者もいた。私は「中正紀念堂」へ。こちらは、総統蒋介石の顕彰施設で台湾の三大観光名所の1つである。中正紀念堂の「中正」とは蒋介石の本名であるとのこと。広

大な敷地と巨大な建造物を拝見した。

その後、先輩おすすめの小籠包のお店や、台北の人気グルメが集結する「永康街」へ向かった。「永康街」は原宿のような街で、マンゴーかき氷など、特に女性の方が喜ぶような街だった。続いて、「台北101」、「国立故宫博物院」へ。「台北101」では、2015年まで世界最速であったエレベーター(東芝製)を体感した。一般的なマンションのエレベーターの速度は、45~105m/分程度らしいのだが、このエレベーターは1010m/分(時速60km)で、5階から89階までわずか37秒。「国立故宫博物院」は中国歴代王朝の皇帝たちが収集したコレクションを基に、69万点もの至宝を収蔵する中国文化と芸術の殿堂で、常時約2万点が展示されている場所である。

この日はとにかく歩き、歩数2万4867歩(15.7km)であった。普段デスクワークの私としては、今年一の歩数ではないだろうか。

夜は皆で老舗台湾料理店へ行き、本場の味を堪能し、3日目終了。台湾での私の感想は、ありきたりではあるが、やはり世界を肌で感じる事は大事だなと思った。テレビやネットであらゆる情報が得られるこの時代ではあるものの、直で体験すると見え方が変わってくる。英語が当然通じるであろうと思っていたが、意外と現地の方には通じなかったり、自分の目で活気のある街を見せつけられることで、日本の現状を改めて考える事もしばしば。また、なぜこんなにも台湾は日本人に愛されるのか、人々が喜ぶポイントは何か。近年、時代はお金より信用が大事とも言われている。信用されることで、自分のやりたい事ができ、経済は豊かになると。台湾に行けば、必ず楽しませてもらえるというのも、信用であろう。私はどんなサービスを通じて信用を受け、新たなビジネスに展開できるのか。そんな事を考える良い機会を台湾で得られた。

——以上、大多和氏寄稿

4日目

台湾の印刷会社の実情はどうなっているのか？今回台湾に研修旅行が決まり、常々考えていたことだ。仲間の会社が、パリでJAPANエキスポに出展したり、海外との取引を開始したりと、以前より世界が近い気がしていたが、実情はどうかと疑問があった。そんな折に、7月46日にビッグサイトで行われていた、販促エキスポに台湾の企業がまとまってブースを出展していた。

その中で気になった印刷物。きっと誰もが一見すると



組織拡大の夢を込めて
天燈を大空に放ちました



UV 厚盛り印刷だろうと認識してしまうものがあった。印刷物を触っていると、台湾の印刷会社の総経理が、やってきて、『! # \$? △ ◎』と、手振りで言葉が分からないとジェスチャーをした。出展してるのに説明できないってどうなのよと思っていたら、若い女の子が出て来た。

そう、今回の台湾研修旅行寸前に訪問が急遽決まった印刷会社、その名も「豊聖彩色印刷有限公司」。台北に立地している70名位の会社だった。印刷機も四六判8色機、4色機と複数台あり、別の工場では製本やパッケージなども手がけているという。そして若い女の子は、総経理の娘さんで、日本の印刷会社に勤めていたという（企業名は団体上伏せておく）。今回目に留まった、見た目UV厚盛り印刷だが、実は、この会社が独自で開発した技術であるという、エンボス加工であった。今、台湾では、かつての日本のように、出版物の電子化による売上の減少や、ネットプリントの台頭など悩むことが多いという話だ。この会社の顧客の多くは台湾国内出版社や企業であるが、全体売上の30%が日本からの仕事だという。新しく開発した技術を広めるために積極的に海外の展示会に出品しているという。もちろん引合いも多く、中には技術が欲しくて会社まで売れという話になった事もあるらしい。もちろん中国企業。

因みに台湾にも日本と同じような同業種の組合みたいなものがあるらしい。政府主導で立ち上げたということだ。産業の活性化も政府の課題なのであろう。現在印刷関係だと約6000社の集まりらしい。総人口2300万に対しての比率だと、日本より圧倒的に多いことになる。やはり、企業によって顧客が大陸向けの所もあるのかと思われた。そして、日本も高付加価値、感性価値を打ち出す企業と、ITを駆使して利便性を追及する企業とに分かれてきているが、台湾もまったく同じ状態だということが分かった。

一時間くらいディスカッションをした後に、工場を見学

させていただいた。ここで、先ほどの独自開発したエンボス機を見ることが出来た。なぜか私だけ興奮していたようにも思うが（あっ、武川さんも物静かだが興味津々だった）、これをメーカーと協力して独自で造ったということが驚きだ。昔の日本人の気質に似ていると感じた。そういえば、台湾の人達は、とてもフレンドリーで優しい人が多いと思う。そして考え方も古き良き日本人と同じなのではと思うぐらい似ていると思えた。

今回伺った「豊聖彩色印刷有限公司」の林総経理、レナさんには本当にお世話になった。また8月には来日するので、私の忘れ物も持ってきてくれるとのことだ。

4日間という短い間ではあったが、全体的に感じたこととして、台北は観光都市であるということ。台南や高雄にも足を伸ばしたが、同じように観光都市であった。平日のビジネス街の雰囲気は味わうことは出来なかったが、観光に関しては日本よりも進んでいると思われる。日本との違いは、日本は完璧を求めるあまりに、何事も遅いのだろうと感じた。ありのままの台湾を見ることが出来たことが、今回の何よりの収穫であった。

最後に、台湾の夜市を何軒か回ったときに、逞しさを感じた。朝は早くから、夜は遅くまで、まるで眠らない町。そして毎日がお祭りみたいだった。とても活気に満ち溢れていて、高度経済成長時代の日本そのもの。私自身は子どもの頃の記憶をたどっても、定かではないが、常に今よりも何もかもが、新鮮で、楽しくどんどん生活が変わっていく。そんな記憶があるが、台湾はこれから、まだまだこれからなのだろう。

私も殻に閉じこもるのではなく、もっと外に飛び出していこうと感じた4日間であった。

——以上、齋藤氏寄稿

月刊
グラフィックサービス
No.791
2017
10

あなたの会社を守る ジャグラ・グループ保険

特長1 掛金が割安です（例：30歳男性、1口290円/月）

特長2 死亡時保障額は最高1600万円

特長3 事故による入院もワイドに保障

特長4 医師の診査はありません 告知のみでお申し込みいただけます

特長5 掛金のお支払方法も簡単です

お問い合わせは
ジャグラ事務局・酒井まで

tel.03-3667-2271

第20回 日本自費出版文化賞 入賞作品決まる!

大賞に東京都・林照さんの『シベリア(三部作)』を選出

ジャグラが主催し NPO 法人日本自費出版ネットワーク(中山千夏代表)が主管する日本自費出版文化賞の最終審査会が9月6日に行われ、大賞として東京都練馬区在住・林照さんの『シベリア(三部作)第一部 白墓の丘/第二部 望郷の風雪無常/第三部 埠頭の華』が選出されました。また、部門賞7点、特別賞(協賛各社賞など)6点も選出されました。

×

全国から 566 点の応募

今年で第20回を数える日本自費出版文化賞は昨年11月から本年3月にかけて募集が行われ、下記日程により審査が行われました。

- ①募集 2016年11月～2017年3月
- ②一次選考 2017年4月～6月
- ③二次選考 2017年7月8日
- ④最終選考 2017年9月6日
- ⑤表彰式 2017年10月7日 アルカディア市ヶ谷

また、部門別の内訳は以下のとおりでした。

地域文化部門	84点	個人誌部門	100点
小説部門	89点	エッセー部門	78点
詩歌部門	64点	研究・評論部門	90点
グラフィック部門	61点		

選考の経緯・表彰

今回も3月の締め切りを受け、5月から専門委員による一次選考が6月いっぱい行われ、約200点の作品を選出しました。これを受けて、7月8日の二次審査には専門選考委員12名が参加し審査が行われました。その結果、合計70点の入選候補作品が選出されました。

この入選候補作品の中から9月6日に行われた最終選考

会で、大賞1点、部門賞7点、特別賞6点(協賛各社賞など)が選出されたものです。また、入選56点も正式に決まりました。

大賞および部門各賞・特別賞

- 大賞
 - ①個人誌 シベリア(三部作)第一部 白墓の丘・第二部 望郷の風雪無常・第三部 埠頭の華 / 林照 / 東京都 / (株)新風書房
- 部門各賞
 - ①地域文化 万人に文を一橋本義夫のふだん記に至る道程一 / 橋本鋼二 / 東京都 / 揺籃社
 - ②個人誌 長崎 幻の響写真館 井手傳次郎と八人兄妹物語 / 根本千絵 / 千葉県 / (株)昭和堂
 - ③小説 お猫さま / 山内兄人 / 東京都 / 一粒書房
 - ④エッセー へんろみちーお四国遍路だより / あいちあきら / 埼玉県 / (株)編集工房ノア
 - ⑤詩歌 戦争を食らうー軍属・深見三郎戦中記 / 玉川侑香 / 兵庫県 / 風来舎
 - ⑥研究・評論 庶民が描く暮らしの記憶ーふるさとを共有する「現代絵農書」 / 清水ゆかり / 茨城県 / 丸善プラネット(株)
 - ⑦グラフィック パパの柿の木 / 谷口真知子 / 大阪 / (株)星湖舎
- 特別賞作品
 - ①地域文化 徳島県塩業写真資料集 / 小橋靖 / 徳島県 / グランド印刷(株)
 - ②小説 恋するひじりたち / 島雄 / 兵庫県 / (株)編集工房ノア
 - ③小説 浮遊する記憶 / 加葉まひろ / 栃木県 / 下野新聞社

- ④詩歌 『真珠のいろの陽を揚げ』『アーネジェウ』 / 加藤美智子 / 愛知県 / 青磁社
- ⑤研究・評論 市之川鉦山物語 / 田邊一郎 / 埼玉県 / (株)現代図書
- ⑥グラフィック 原爆の怖さの物語ー原爆被爆70年(今伝えたい) / 兒玉智江 / 岩手県 / デザイン・コダマ

表彰式・日本自費出版フェスティバル

第20回日本自費出版文化賞表彰式を中心とした「日本自費出版フェスティバル」が10月7日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷(私学会館)で開催されました。

午後12時半から午後1時半まで、会場で今回の入賞作品および歴代大賞作品の展示が行われました。

午後1時半からは表彰式などの記念式典が行われました。式典では第一部として、自費出版アドバイザーの認定書授与式が行われ、今回新たに認定された4名の方々に自費出版ネットワークの中山代表より認定証が授与されました。

その後、主催者を代表して、中村耀ジャグラ会長が挨拶を行い、続いて、後援団体を代表して朝日新聞社様、協賛会社を代表して富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ(株)様より挨拶を頂戴しました。

続いて最終審査委員会を代表して、中山代表より、審査

の感想、各入賞作品に対する講評を含めた挨拶が行われ、この自費出版文化賞の意義を述べるとともに入選・入賞者にお祝いの言葉を贈りました。また、この日の表彰式に出席した鎌田、秋林、藤野、佐藤の各最終審査委員からもそれぞれ講評を頂戴しました。

表彰では、中村ジャグラ会長が、この日出席した入選者の方々をひとりずつ順に表彰しました。続いて入賞作品の表彰が行われ、特別賞として富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ(株)、(株)ショーワ、リョービMH Iグラフィックテクノロジー(株)、(株)モリサワ、(株)渋谷文泉閣の協賛各社様から、部門賞受賞者には最終選考委員から表彰状が贈られました。

その後、自費出版文化賞表彰式の恒例となった、入賞者の皆様によるスピーチが行われ、入賞作品への思いや今回の受賞についての感想などが披露されました。会場には各作品の映像も流され、受賞者それぞれの熱意と人柄が強くあふれるお話が続きました。(入賞者のスピーチ映像が同ネットワークのHPでご覧いただけます <http://www.jsjapan.net/js-vreport.html>)

表彰式終了後、場所を移しての記念パーティが行われ、来賓や参加者、受賞者の皆さんの楽しいお話がうかがえました。特に、この日の表彰式に出席した最終選考委員が壇上にあがって今年の審査の感想や自費出版の持つ社会的な意義などの持論を披露しました。



日本自費出版文化賞表彰式の模様



表彰者の皆さんと 前列左から3人目が中山代表、4人目が中村会長



表彰作品の展示



挨拶する中村会長



表彰状の授与



恒例の受賞者スピーチ

月刊
グラフィックサービス
No.791
2017
10

月刊
グラフィックサービス
No.791
2017
10

個人情報漏洩事故の傾向と注意点

平成28年度 JIPDEC 報告書から

一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）では、毎年 JIPDEC 及び審査機関（18 機関）に報告があったプライバシーマーク付与事業者（以下、付与事業者）の個人情報の取扱いにおける事故についての報告を行っている。平成 28 年度の事故報告内容は、事故の原因及び、盗難・紛失の媒体において、ほぼ前年度と同様の傾向を示しているが、843 付与事業者より 2044 件の事故報告があり、前年度の 796 付与事業者 1947 件より、事業者数、事故報告件数共に増加した（事故報告事業者の割合は 5.5%）。因みに JaGra における事故報告は 8 件あった。

JIPDEC 報告内容の概要

- ①事故の原因は、「メール誤送信」（20.7%）が最も多く、次いで「紛失」「宛名間違い等」の順に割合が多い。前年度に比べ、「メール誤送信」「紛失」「宛名間違い等」のいずれも割合は減少した。
- ②事故の原因の「その他漏えい」は、前年度に比べ割合が大幅に増加（6.9%⇒13.8%）し、特に、「プログラム/システム設計・作業ミス」による漏えい、「不正アクセス・不正ログイン」による漏えいの報告件数が 2 倍強に増加している。
- ③盗難・紛失の媒体については、書類、スマホを含む携帯電話、ノート PC・モバイル端末の順に件数・割合共に多く、この傾向は平成 25 年度から変化はない。平成 28 年度については、前年度に比べ書類の割合が若干増加し、スマホを含む携帯電話がやや減少している。

※ JaGra の会員事故原因は全て「ヒューマンエラー」

JaGra 会員における 28 年度の事故は 8 件であった。内容を見ると、A 社は 2 件でいずれも業務委託先での書類の受渡ミス（同姓の別人に誤渡し）、送付ミス。B 社も誤送付で退職手続き書類を 2 名に入れ違い。C 社はメールの誤送信（CC の誤用）。D 社は年賀状の納品ミス、E 社は業務委託での書類送付ミスなどが報告された。いずれもヒューマンエラーではあるが、手渡し時、送付時の処理を 1 人の従業員が行っていたため、チェックが効かなかった。メール送信での個人のウッカリミスと原因は判明しているが再発防止策としては、業務フローの改善、特に送付時の 2 重チェック、メールや FAX 送信時の確認の仕組みを再構築した。

事故に対する主な注意事項

(1) IT 関連の事故について

『IT 関連事故』は、コンピュータシステム、情報システム、ネットワークシステムにおける、あるいは IT 機器操作における事故などを指し、事業における IT 利用の増加・高度化に伴い、IT 関連事故の件数の増加、内容の複雑化が見られる。平成 28 年度の事故報告「その他漏えい」の内訳においても、『IT 関連事故』（『プログラム/システム設計・作業ミス』『不正アクセス・不正ログイン』による漏えい）は、前年度より大幅に増加している。IT 関連事故の特徴としては以下の 3 つのケースが挙げられ、事業者の信頼性確保のためにも事故の未然防止が重要と考える。

- ①被害対象の規模が大きいケースがある。
- ②金銭的被害に結びつくケースがある。
- ③ニュースになるような話題性のあるケースがある。

<その 1：システムプログラム上の問題による事故に関して>

◎システムプログラム上の問題による事故としては、「公開・表示設定間違い」「アクセス権設定間違い」「想定外の処理」等がある。「想定外の処理」等の場合に、例えば『ウェブサイトなどで、本来は公開対象ではない個人情報が公開された』『プログラムの不具合等により、想定したアクセス設定とは異なる設定となり、本来、該当の個人情報を閲覧できないはずの人が閲覧できてしまった』『設計・設定時には想定していなかったシステム上の処理が行われたことにより、個人情報が漏えいした』等が発生しており、人為的なミスが原因となっているケースが数多く見受けられる。

◎特に、システム導入時・システム移行時において、ひとりの担当者（責任者）に全てを任せきりにしてしまうことや、システム構築委託先に全てを任せきりにしてしまうこと等については、特に注意が必要である。

◎システムプログラム上の問題による事故の防止策としては、設定不備のミス防止や操作ミス防止、検証・検収不備のミス防止等の具体的な防止策の他、体制の整備として次のような対策も重要なポイントである。

(1) 手順やルールの見直し

- ①適切な業務運営ガバナンス体制の構築
- ②作業実施ルール確認・見直し
- ③チェックルール確認・見直し 等

(2) 具体的な手順等の工夫

- ①二重チェック体制の構築
- ②従来のやり方にとらわれない新たな手順の導入 等

(3) 注意喚起・教育

- ①教育方法・実施時期・教育の目的・教育内容等の見直し

■付与事業者から報告のあった原因別事故報告件数と割合（平成 26～28 年度）

原因	漏えい							盗難・紛失			その他 (※4)	合計	
	誤送信(※2)					ウイルス 感染	その他漏えい (※3)	盗難		紛失			
	宛名 間違い等	配達 ミス	封入 ミス	FAX	メール			重上 り	盗 引 き等				
平成26年度	報告件数 (※1)	282	1	275	126	305	1	114	8	40	416	80	1,648
	割合(%)	17.1	0.1	16.7	7.6	18.5	0.1	6.9	0.5	2.4	25.2	4.9	100.0
平成27年度	報告件数 (※1)	311	5	334	157	409	6	135	13	29	435	121	1,955
	割合(%)	15.9	0.3	17.1	8.0	20.9	0.3	6.9	0.7	1.5	22.2	6.2	100.0
平成28年度	報告件数	303	0	274	136	424	4	281	9	37	409	167	2,044
	割合(%)	14.8	0.0	13.4	6.7	20.7	0.2	13.8	0.4	1.8	20.0	8.2	100.0

※1:「誤送信」の分類について 「宛名間違い等」は、誤送信の原因となる配送に関する事務処理上のミス（宛名書き間違い、誤登録・誤入力等）及び渡し間違い等である。
 ※2:「その他漏えい」の内容について 「配達ミス」は、配送を業とする付与事業者自らが配達した際の違い等である。「その他漏えい」には、「プログラム/システム設計・作業ミス」「不正アクセス・不正ログイン」による漏えい、「口頭での漏えい」及び「◆その他（事務処理・作業ミス等）」のヒューマンエラーと考えられるもの等が含まれる。

平成 26～平成 28 年度の「その他漏えい」の内訳は以下の通り。

内容	プログラム/ システム設計・ 作業ミス	システムの バグ	不正アクセス 不正ログイン	口頭での 漏えい	◆その他 (事務処理・ 作業ミス等)	合計	
平成26年度	報告件数	44	4	27	17	22	114
平成27年度	報告件数	40	1	24	21	49	135
平成28年度	報告件数	89	8	57	27	100	281

<コメント> 「その他漏えい」は、前年度に比べ割合が大幅に増加し、特に、「プログラム/システム設計・作業ミス」による漏えい、「不正アクセス・不正ログイン」による漏えいの報告件数が 2 倍強に増加している。
 ・「◆その他」は、付与事業者の関係者等が関与した漏えいも含まれるが、事務処理・作業ミス等的人為的なミスによる漏えい事故が大幅に増加したことが読み取れる。

※3:「その他」の内容について 平成 26～平成 28 年度の「その他」の内訳は以下の通り。

内容	不正 取得	目的外 利用	同意の ない提供	内部不 正行為	誤廃棄	消失・ 破壊	★注記分類 できない内容	合計	
平成26年度	報告件数	3	11	9	12	28	5	12	80
平成27年度	報告件数	1	22	7	9	28	7	47	121
平成28年度	報告件数	3	23	6	7	27	6	95	167

- ②事故防止のルールの見直しと見直したルールの周知徹底
 - ③人為的ミス防止のための定期的な教育の実施 等
- ### (4) 委託先の管理

- ①定期的な運用モニタリングの実施等、チェック体制の確立及び、監査実施の徹底
 - ②人為的ミス防止のための委託先教育の実施 等
- 更に万が一、事故が発生した場合に備えての二次被害等防止策の策定も重要なポイントである。

<その 2：不正行為による IT 事故に関して>

◎IT 事故における不正行為には、外部からのものと内部におけるものがあるが、それぞれに「悪意によるもの」「愉快犯的なもの」「自己利益を目的としたもの」などが存在する。いずれの場合も、事業者の信頼性を失ったり経済的損失を被ったりするリスクがあるのは同様であるため、個人情報保護の重要性を事業者全体で認識し、従業員や委託先への教育を徹底させることや、社内監視体制を強化するなど、不正防止に向けた取組みが肝要である。

- ◎「データ保管ミス」「アクセス制御ミス」「不正持出制御ミス」等が原因で、データの不正持出・不正使用の事故（例えば、『従業員が顧客のクレジットカード情報を持出し、不正使用した』等）が発生している。また、「システムの脆弱性等」「なりすまし」により、不正アクセス・不正ログインの事故（例えば『SQL インジェクション（コンピュータ操作言語 SQL を悪用し、データベースを不正に操作する攻撃方法）による不正アクセス攻撃により、メールアドレスや ID・パスワードが流出した』『第三者が「実在する ID・パスワード」を利用して「なりすまし」により不正行為を行った等』）が発生している。
- ◎特に、委託契約終了時（委託先の問題）や雇用契約終了時（退職者の問題）においては、IT 事故における不正行為発生リスクが高く、また、個人情報取扱権限が集中した場合及び個人情報が放置されている状況については、より注意が必要と考える。
- ◎不正行為による IT 事故については、次のような具体的な再発防止策が考えられる。

特別企画

(1) データの不正持出・不正使用の場合

- *個人情報抽出用端末の制限
- *退職者対応
- *外部への接続制限
- *データの管理
- *その他(例えば、複数名による作業の徹底・不正アクセス検知モニタリングの強化等)

(2) 不正アクセス・不正ログインの場合

- *システムの脆弱性等の早期発見と対応
 - *なりすましを防止するシステムへの改善
- 情報セキュリティに関する情報収集・提供を行っている組織で、ウェブサイトから多くの有用な情報を得ることができる。

独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA)

<https://www.ipa.go.jp/>

なお、内部不正行為防止については、下記の情報も参考にしてください。

「組織における内部不正防止ガイドライン」

<http://www.ipa.go.jp/security/fy24/reports/insider/>

(2) 対面・電話等における事故に関して

本人等と対面もしくは電話にて対応する場合、時間をかけて検討する間もなく即時の対応を迫られる等、その場のやりとりの状況によってはルール通りの対応が難しく思えるケースや、親切心が仇になり、思わぬトラブルを招く結果になってしまうケースが見られる。平成28年度の事故報告:「その他漏えい」の内訳においても、『口頭による漏えい』は、前年度より増加している。

◎対面・電話等における事故としては、「第三者への漏えい」「職場内での漏えい」「家族などへの漏えい」「他企業への漏えい」「本人との思い込みによる別人への漏えい」「不審な問合せ者への漏えい」があり、例えば、『業務上保管している(顧客・会員・契約者等の)連絡先を本人の同意なしに第三者に伝えた』『会員Aに対して、同姓同名の会員Bの情報を伝えた』『(本人の)自宅に電話した際、本人不在であったために家族に要件を伝えてしまった』『従業員や退職者の勤務状況等を他社に伝えた』等の事故がある。

◎対面・電話等においては、以下のような場合に特に注意を要する。また、注意を要する対応には、復唱及びメモを取る際のミスや本人確認の際のミスも重複して発生することもあるので、慎重

な対応が望まれる。

- ・相手の巧みな話術
- ・家族を名乗る人物からの問合せ
- ・本人不在時の対応
- ・第三者の脅し、泣き落とし
- ・権力者、権限のある人物の氏名提示
- ・同姓同名(契約者内、職場内)
- ・同一苗字、類似苗字
- ・類似社名 等

◎再発防止策を策定し確実に実行するために、対応ルール・手順の確認・見直しを行うと共に、従業員への注意喚起・教育が重要なポイントと考える。また、対面・電話などにおける事故を起こさないためには、担当者ひとりひとりの「正しい認識」と「バランス感覚」が求められるが、それらを養うためには、具体的な事例をもとに「ロールプレイング」や「ディスカッション」を行うのも効果的かと考える。

◎対面・電話等における事故の直接の原因ではないが、個人情報の取扱いルール不整備、周知不徹底の問題も考えられるため、「個人情報取扱いに関するルール不整備・周知不徹底」「本人確認ルールの不整備・周知不徹底」「第三者提供に関するルールの不整備・周知不徹底」「本人以外への対応ルールの不整備・周知不徹底」についても注意が必要である。

(3) 盗難・紛失事故について

◎盗難事故(車上荒し・置き引き等)の報告件数は、前年度に比べ件数は若干増加したものの割合は同一である(42件:2.2%→46件:2.2%)。内訳では、特に置き引き等の件数の増加が目立っている。

◎盗難事故には「移動時の乗物内での盗難」「飲食店等での盗難」「路上・公園等屋外での盗難」「車上荒し」等があり、『持ち物から意識が薄れる時』『持ち物から遠ざかった時』『夜間の外出』等の状況において発生しているとの報告がある。万が一、事故が発生した場合に備え、媒体別の二次被害等防止策を講ずると共に、緊急時の対応ルールを確実に実行することが重要である。

◎紛失事故については、これまで事故報告の原因として報告件数割合共に最も多い状況であったが、平成28年度は「メール誤送信」に次ぐ報告件数・割合となった。しかしながら全報告件数に占める割合は20.0%と多く、紛失事故の発生し易い状況を回避することを意識した従業員教育の実施等により、減少できる事故とも考えられる。

◎盗難・紛失の媒体別内訳は左記の表の通りである。全体的に

盗難・紛失の媒体別内訳(平成26～28年度)

媒体等	書類	携帯電話 スマホ	ノートPC モバイル機器	USBメモリ等 可搬型記憶媒体	その他の 電子機器	その他の 媒体(※1)	バッグ類 (※2)	合計	
平成26年度	報告件数 (464)	229	153	36	15	2	31	4	474
	割合(%)	48.3	32.3	7.6	4.0	0.4	6.6	0.8	100.0
平成27年度	報告件数 (477)	239	166	48	14	0	43	0	510
	割合(%)	46.9	32.6	9.4	2.7	0	8.4	0	100.0
平成28年度	報告件数 (455)	239	151	45	10	0	45	0	490
	割合(%)	48.8	30.8	9.2	2.0	0	9.2	0	100.0

は平成26～27年度と同様に書類、スマートフォン(スマホ)を含む携帯電話、ノートPC、タブレット端末が多く報告されている。前年度に比べ書類の割合は若干増加しているが、あくまで割合の問題であって、書類、スマホを含む携帯電話ともに取扱いに細心の注意が必要であることは言うまでもない。

(文:東京グラフィックス・斎藤成)



ジャグラコンテスト第1次審査課題解説④ 最終回

問題4：自動表組みの制作

オペレータースキルアップのために

DTP オペレーターの技能を競う「ジャグラコンテスト第3回 InDesign」の第1次審査課題提出が7月10日に締切を迎えました。第1次審査で出題された4問の課題内容と審査の要点を全4回の連載でお届けします。

課題内容

「問題4：自動表組みの制作」では、Excel データを差し替えることで内容が自動的に更新されるカルチャースケジュールのスケジュール表フォーマットを制作する課題が出題されました。

8月16日スケジュール表			
	教室A	教室B	教室C
9:00～9:50	レタリング 講師：樋口麗華 7名 2,000円	子供のころ 講師：桜 弥生 22名 800円	古文に学ぶ 講師：小田 城 7名 12,000円
10:00～10:50	親子でビデオ 講師：阿部 美麗 7名 12,000円	お菓子とお茶 講師：桜川 レイ 7名 12,000円	老後の数学 講師：織田 信長 7名 12,000円
11:00～11:50	楽しい油絵 講師：長谷川 高一 7名 12,000円	すごい英会話 講師：長瀬 栄子 15名 2,500円	1分クッキング 講師：村田 綾野 7名 12,000円
12:00～13:00	お昼休み		
13:00～13:50	フランス語伝説 講師：長瀬 紗耶香 7名 12,000円	ミッキーになる 講師：吉野 麻耶 10名 12,000円	ヒップホップ 講師：斎藤 純平 7名 12,000円
14:00～14:50	日曜ダイカー 講師：高木 正作 7名 12,000円	パンを作ろう 講師：川村 班 7名 12,000円	歌と三味線 講師：藤 音寧 7名 12,000円
15:00～15:50	君もライター 講師：本郷 聡 7名 12,000円	トラック野郎 講師：菅原 松尾 7名 12,000円	熱帯魚と一緒 講師：杉本 哲夫 7名 12,000円

出題の意図

Excel データを InDesign と連携させ、効率的に利用するための方法を問題にしました。また、段落スタイルをより活用するため、正規表現の問題もセットにしました。

InDesign で Excel データを利用する際は、必要な部分をコピーして InDesign 上にペーストすることが多いでしょう。この方法の欠点は、元の Excel データに変更があった場合、変更箇所を InDesign にコピーし忘れる危険

性があることです。しかし、Excel のデータを InDesign の表に「リンク」させることで、元データの変更を InDesign 側に容易に反映させることができます。

「リンク」といえば、画像を配置する際の標準的処理として利用されているものの、テキストデータの配置にはほとんど利用されていないのが現状です。その理由のひとつに、文字や Excel データをリンクとして扱う際は、設定によって配置結果が異なるなど、画像データより扱いづらい点があると思います。しかし、コツさえつかめば難しいことはありません。

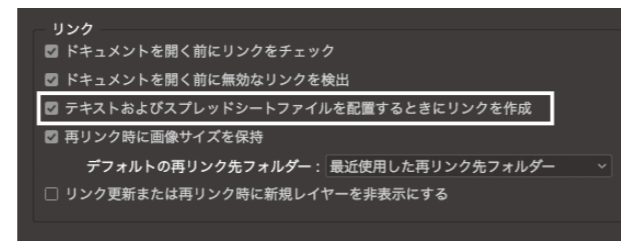
この課題への取り組みをきっかけに Excel と InDesign の連携機能を学び、仕事の幅が広がれば嬉しく思います。

課題のポイントと必須技能

Excel データを InDesign とリンクさせるために必要な設定、手順を正確に行っているかどうかポイントになります。必須となる設定、手順は下記の通りです。

①環境設定

テキストリンクを利用するためには、InDesign 環境設定メニュー／「ファイル管理」／「リンク」の「テキストおよびスプレッドシートファイルを配置するときにリンクを作成」にチェックを入れておきます。チェックがオンの状態で Excel データを配置するとリンクされます。

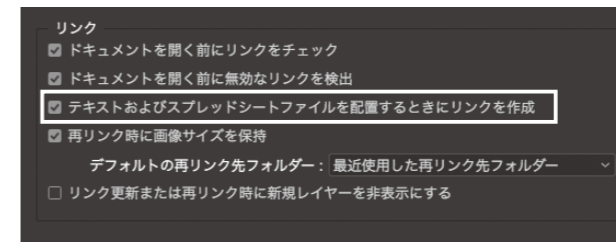


②読み込みオプション

Excel データの書式を活用するために、Excel データ配置時の読み込みオプションで「1回だけフォーマット」を

指定します。「1回だけフォーマット」は、Excel データの初回読み込み時のみ Excel データの書式を保持する方法で、リンクを更新した際は、Excel データの書式に変更があっても無視されます。データ更新時、Excel の数値等のデータ変更のみ反映させ、デザイン上の更新は行いたくない場合に最適なオプションです。

ここで間違えて「フォーマットテーブル」を指定すると、Excel データの再リンク時に書式が書き換わってしまうので、注意が必要です。



③段落スタイル

再リンク時にテキスト属性が変更されないよう、「1回だけフォーマット」で読み込んだ Excel 表のすべての書式を InDesign の段落スタイルに登録します。そしてその段落スタイルを含むセルスタイルを作成します。

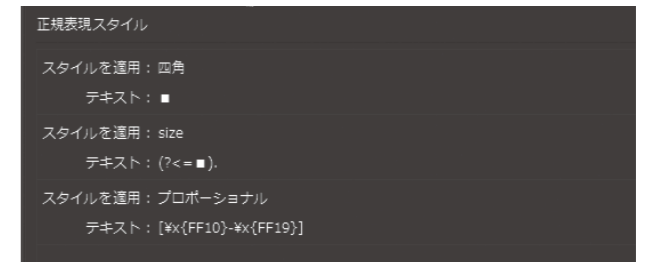
この課題で一番の難所は？

- セルスタイルを作成する際、セル内の文字が選択されているとそのセルの線の属性も登録されますが、セルスタイルに線の属性が登録されていると、再リンク時にオーバーライド（登録されたスタイルと異なる属性が含まれた状態）が発生する原因になりますので、登録されないよう注意が必要です。
- Excel データを更新する際、文字スタイルパネルの「なし」を選択するようにします。「なし」以外が選択されていると、データ更新時に選択した文字スタイルが適用されてしまいます。



正規表現スタイルに関しては、「■講、■定、■費」を囲み文字にする際、条件部分に「■」を設定します。「講、定、費」の文字を条件に設定してしまうと、その後の文

章内で「講、定、費」の文字が使用されている場合、その文字がすべて囲み文字になってしまいます。



課題出題者からのメッセージ

Excel データを InDesign で利用する際、コピー＆ペーストを利用するか、リンクを利用するかは、データの更新頻度と Excel データ作成者のスキルによります。差し替えの多い Excel データを社内で作成し、InDesign に流用したいときに、ぜひ活用してみてください。

今回の問題のように「1回だけフォーマット」もしくは「フォーマットテーブル」で Excel データを配置すると、Excel で入力したルビが InDesign にそのまま配置されてしまいます。InDesign 上でルビを消す作業は大変なので、必ず Excel 上でルビを削除してから InDesign で利用してください。

図版付き解説と模範データは特設サイトで！

ジャグラコンテスト特設サイトでは、第1次審査課題「問題1：横組みレイアウトの制作」「問題2：縦組み新聞レイアウトの制作」の解説全文を図版付きで公開中です。コンテスト未受験の方もご覧いただけますので、ぜひスキルアップにご活用ください。また、受験者の方は、第1次審査課題資料に記載されたダウンロードID・パスワードを入力することにより、「ダウンロード」ページから課題の InDesign 模範データをダウンロードいただけます。

▼ジャグラコンテスト第3回 InDesign 特設サイト
<http://www.jagra-contest.com/>

月刊
グラフィックサービス
No.791
2017
10

月刊
グラフィックサービス
No.791
2017
10

ジャグラ

9.2-3 山梨・石和温泉で関東地協大会を開催

80名の参加を得て盛況

ジャグラ関東地方協議会の大会が9月2～3日に山梨県石和温泉「華やぎの章 甲斐路」にて開催され、80名の参加を得て大盛況でした。

×

関東地方協議会は、二年に一度大会を、間の年は事務総会を開催することになっています。今回は平成27年9月に茨城県にて開催しており、今回は2年ぶりに山梨県での開催となったもの。

今回の大会は、「強いジャグラ」を掲げる中村体制に因んで、「強いジャグラ!! まずは関東から発信」をテーマに掲げて開催しました。

大会のプログラムは、1日目が「セミナー」「総会」「懇親会」、2日目は富士山五合目を含む「エキスカッション(小観光)」といった内容。

セミナーは、現在、ジャグラマーケティング委員会(齋藤秀勝委員長)がクラウドを活用したビジネスを提案していることから、「クラウド最新事情」と題した講演が行われました。内容は、アマゾンやグーグルのクラウドサービス(サーバー)を利用すると、「セキュリティ面で強い」「いろいろなサービスを組み合わせて利用できる」「コスト面でのアドバンテージが見込める」等々のメリットがあるというもので、今後も全国の各地協を回って講演する予定にしています。

総会では、樋貝関東地協会長の挨拶、中村会長の祝辞に続いて、岡澤神奈川県支部長が議長に就任し、「平成28年度事業報告」「平成28年度決算報告」「平成29年度事業計画案」「平成29年度取支予算案」をいずれも満場一致にて可決承認しました。

翌日は、富士山五合目にて1時間の自由散策を楽しんだあと、ほうとうの昼食に舌鼓をうち、午後は富士山世界遺産センター、河口湖遊覧船「アンソレイユ」で観光を楽しんだ後、解散となりました。

月刊
グラフィックサービス
No.791
2017
10

関東地方協議会大会会場の模様



2日目に立ち寄った富士山世界遺産センターにて



強いジャグラをと訴える中村会長



ゴルフコンペ

日印産連

9.13 印刷の月 記念式典を開催

ジャグラから3氏1社が表彰される

ジャグラなど印刷関連 10 団体で組織する（一社）日本印刷産業連合会が主催する「9月印刷の月」記念式典が、9月13日、ホテルニューオータニで開催されました。

×

当日はジャグラを含む傘下 10 団体より約 600 名が参加しました。

午後 3 時半から、「地域創生の視点から印刷業界を考える」と題して、東京理科大学専門職大学院教授である生越由美氏の講演がありました。（同講演のレジュメが日印産連の HP で公開されています <https://www.jfpi.or.jp/topics/detail/id=3042>）

続いて、午後 4 時半から記念式典が開催され、日印産連表彰として印刷功労賞・印刷振興賞・特別賞の授与が行われました。ジャグラからは、印刷功労賞としてジャグラ専務理事の沖敬三氏、印刷振興賞として千葉県支部の尾形文貴氏と東京城西支部の笹岡誠氏が受賞しました。また、第 16 回印刷産業環境優良工場表彰では、ジャグラ大阪府支部所属の石川特殊特急製本 MID CENTER が奨励賞を受賞（出席は同社石川敬一氏）しました。

午後 6 時からは懇親会が、ご来賓の皆様、表彰受賞者、会員団体及び関連業界から多数の参加を得て盛大に行わ



れました。ジャグラ独自としても、同ホテルラウンジにて受賞者を祝う席を設け、表彰された 3 氏 1 社を皆で讃えました。

（取材・文：事務局・今田）



記念式典の様



ジャグラ表彰者の皆さん 左から尾形氏、沖氏、中村会長、笹岡氏、石川氏



挨拶する山田日印産連会長



印刷功労賞：左端が沖氏



印刷振興賞：左から笹岡・尾形両氏



環境優良工場表彰：左端が石川氏

ジャグラ /SPACE-21

9.30 全国協議会岐阜大会開催

「THE交流」をテーマに175名が岐阜に集う

ジャグラ青年部 SPACE-21 は、9月30日、岐阜県岐阜市「長良川温泉岐阜グランドホテル」にて、全国各地から 175 名の参加者を得て、全国協議会・岐阜大会（園田実行委員長）を開催しました。

×

協議会のプログラムは、「式典」「講演会」「懇親会」「鶴飼」「二次会」といった内容。式典は佐藤元 SPACE-21 代表幹事の主催者挨拶で幕を開け、中村耀ジャグラ会長及び岐阜県印刷工業組合の四橋理事長から参加者に向けて歓迎の挨拶が述べられました。

続く一般社団法人日本クラブメンター協会代表理事であ

る伊藤直樹氏による講演のあと、16時半より始まった懇親会では、再び佐藤元代表幹事の挨拶、神山ジャグラ愛知県支部長による来賓挨拶に続いて、愛知県印刷工業組合の細井理事長による乾杯で開宴。本大会のテーマである「THE交流」の通り、団体を超えて歓談する光景が会場のあちこちで繰り広げられました。宴半ばには、ご当地アイドル「濃姫隊」による歌とダンス、高級飛騨牛が賞品のじゃんけん大会で会場は最高潮の盛り上がり。あっという間に予定の 2 時間は過ぎ去りました。

その後 19 時からは本大会のメインイベント「鶴飼」のために、参加者は長良川の船着き場から乗船。この鶴飼発祥の地で本物の鶴飼いを 90 分ほど楽しんだ後、ホテルに戻り、21 時から同ホテル内のラウンジで二次会を開催。業界の未来を担う若手の皆さんは、夜遅くまで団体の垣根を超えた交流に花を咲かせました。

（取材・文：事務局・今田）



佐藤元 SPACE-21 代表幹事



中村耀ジャグラ会長



岐阜印刷工組・四橋英児理事長



参加者を大いに楽しませた鶴飼い

11.10-11 ジャグラ全国協議会開催のご案内

来る 11 月 10～11 日の 2 日間、ジャグラ全国協議会が開催されます。今年は 1 日目と 2 日目の会場が違いますのでご注意ください。

×

日程と主な内容（予定）

11月10日（金）13:00～17:30

——東京ドームホテル

- ①事例発表（2～3社/1社20分）
- ②テーブルディスカッション（8グループ予定）
- ③「年賀状デザインコンテスト」表彰式
- ④「ジャグラコンテスト」表彰式
- ⑤ジャグラ文化典の進捗状況について
- ⑥懇親会

※なお、11時からジャグラ理事会が予定されています



昨年の全国協議会の模様

11月11日（土）9:00～12:00

——日本教育会館

- ①テーブルディスカッション総括
- ②事例発表（1～2社/1時間半予定）
- ③地協報告

※なお 13 時よりジャグラ役員推薦委員会が予定されています

新 知 孔 温

懐かしき 謄写印刷とその魅力
—— 今こそ先達の精神を学ぶとき



ジャグラー山形県支部長 (中央印刷株)
山形謄写印刷資料館 館長

後藤 卓也

続編

第16回：80歳の現役謄写印刷名人をたずねて

昨年、山形謄写印刷資料館に遠くから来ていただいた事がご縁で手紙やメールのやりとりを始めた北九州ガリ版研究会を主催している小松良子さんから、「福岡市に凄い謄写印刷名人がいる。」との情報をいただきました。そして、その時初めて巨匠「安恒春一」の名を知ったのです。そして、小松さんが安恒先生から頂戴したという作品数点をお送りいただきました。私が属しているロータリークラブの姉妹クラブが福岡市にあり、今年9月11日にこのクラブの創立25周年記念行事に出席するため、福岡市に行き、翌12日、本来はロータリークラブの観光だったのを断って小松さんと安恒先生のご自宅を訪問しました。

安恒春一先生は、元々専任謄写印刷作家ではありませんでした。1937年(昭和12)に福岡市に生まれ、地元高校卒業後に大丸百貨店に勤務、広報宣伝の部署に配属になったのをきっかけとして独学でレタリングを覚え、6年間勤務した後、地元放送局でテレビ番組制作を何十年と行いました。大丸時代に覚えたレタリング技術や作画技術はここでも大いに活用され、草創期のテレビ番組を支え、番組制作の裏方として活躍する日々の傍ら、謄写印刷による作品の制作を始めました。その時に師事したのが若山八十氏とともに甕土会で作品を発表していた大場正男でした。大場からは作品制作の基本を学び、鮮やかな重ね刷りの技法を身に付けたのも大場正男からの教授によるものが大きかったようです。

作品制作方法は、最初に白紙にペン画で下絵を描きます。この下絵だけ見ても緻密な描写は完成された絵であり、素晴らしい作品です。この下絵を原紙に転写させる訳ですが、1回の作品に使用する原紙は多いもので



左から安恒先生、筆者、小松さん (ホテル日航福岡にて)



安恒先生の自宅工房にて (上2点とも)

30版にもわたり、気の遠くなるような緻密作業の連続です。小松良子さんと一緒に作品完成までのプロセスをお聞きし、あまりにも気の遠くなるような作業に驚嘆する事ばかりでした。総30版刷りのような作品になると最初から完成までに半年から1~2年はかかったそうです。作品は小さいものは100枚くらい、大きな作品で10~15枚くらいが制作枚数でした。

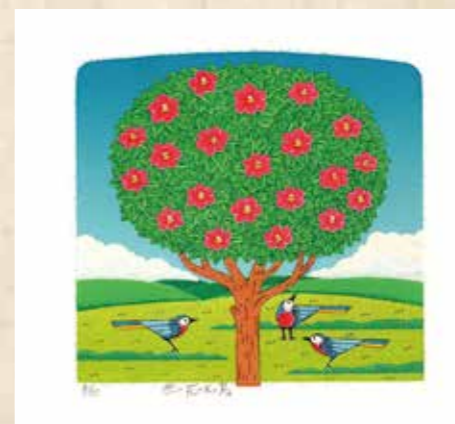
普通謄写印刷の版は一度きりであり、私のような素人が印刷するとよほどきれいにインクを拭かない限り再利用はできないのですが、安恒先生の作品の版はきれいにインクが拭き取られており、何度でも印刷できる状態で下絵・数十版の原版・作品完成見本の3つがきちんと一つの袋に入れています。



保存されてある原画=ペン画と (左)
謄写印刷完成作品 (右)



安恒先生作品の数々 (6点とも)



興味深い話としては、インクは普通のオフセットインクに油絵の絵の具を混ぜて使っているとのこと。なぜそのようなのかというと、オフセットインクだけだと何十年もたつと色が退色するが、油絵具を少し混ぜるといつまでも色あせる事無く、明るい色が保たれるそうです。安恒先生の作品はどの作品も透明感あふれる鮮やかな色で作られており、その明るさと透明感は実物を見て初めてわかるものですが、いくつか作品を並べさせていただきます。少しでも作品の魅力を伝えることができればと思っております。現在作品下絵が完成しているものがあり、これが完成するまで2年くらいかかるだろうとの事でした。

謄写印刷作家の流れは、草間京平を代表とする「複製派」と言われる作品制作者の流れと、若山

八十氏を代表とする「創作派」と言われる作品制作者の流れがあります。若山八十氏の流れをくむ現役芸術家が福岡市在住の安恒春一であり、もう一方で草間京平の流れをくんだ自他ともに許す草間直系「黒船工房」の芸術家が熊本県在住の佐藤勝英であり、二人とも同じ九州で今も制作に励んでいるのは偶然でしょうか。

来年6月にジャグラー全国大会が福岡市で開催されるので、その時に再度お伺いしたい旨を申し上げ、それまでのご健勝と来年6月の再会をお互いに誓い合ってお別れしたのでした。

なお、安恒先生からは大小約90点の作品が山形謄写印刷資料館に寄贈され、定期的に入れ替えながら展示公開する予定です。

月刊「グラフィックサービス」791号

■発行日 平成29年10月10日(毎月1回)
 ■発行人 中村 耀
 ■編集人 早坂 淳
 ■発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
 TEL 03-3667-2271
 FAX 03-3661-9006
 WEB <https://www.jagra.or.jp/>

ジャグラは一般財団法人日本情報経
 済社会推進協会指定のプライバシー
 マーク指定審査機関です

■編集部 メール edit@jagra.or.jp

◎原稿 / 編集 / 校正

沖 敬三 守田 輝夫 長島 安雄
 酒井 玲子 並木 清乃 阿部奈津子
 今田 豪 (以上、ジャグラ事務局)
 斎藤 成 (東京グラフィックス / 広報委員)
 藤尾 泰一 (㈱インフォ・ディー / 広報委員)
 日経印刷㈱ (校正のみ)

◎組版 / デザイン (㈱インフォ・ディー)

組 版 = Adobe CS6/CC
 フォント = モリサワ OTF ほか

◎印刷 日経印刷㈱(東京・千代田支部)

RIP = 大日本スクリーン Trueflow

CTP = 富士フイルム XP-1310R

東レ TWL-1160F

刷 版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX

印刷機 = ハイデルベルグ社 SM102-8P

ハイデルベルグ社 SORD

インキ = DIC

用 紙 = 三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg

※本誌はFSC森林認証紙(管理された森林の木から作られた紙)とベジタブルインキ(環境配慮型インキ)を用い、環境に配慮した印刷工場で生産されています。
<https://www.nik-prt.co.jp/>

Copyright 2017 JaGra / 禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です
 また、原則 TM・®マークは省略しています
 ※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたしません



ジャグラ スケジュール表

2017.9

- 2日 関東地協総会(山梨)→中村会長・沖専務ほか
- 5日 プライバシーマーク現地審査(香川)
- 6日 日印産連知的財産部会→増田理事、日本自費出版文化賞最終審査会+記者発表→中村会長
- 7日 マーケティング委員会
- 8日 プライバシーマーク現地審査(千葉)
- 10日 4団体トップ話し合い(熱海)→中村会長・沖専務
- 11日 プライバシーマーク現地審査(群馬)
- 13日 経営革新委員会、総務委員会、日印産連「印刷の月」式典・講演会・懇親会(ホテルニューオータニ)
- 14日 プライバシーマーク審査会
- 15日 広報委員会
- 19日 プライバシーマーク現地審査(都内)
- 20日 プライバシーマーク現地審査(兵庫)、日印産連企業行動委員会→沖専務
- 21日 新JIS対応打合せ(大阪)
- 25日 プライバシーマーク現地審査(愛媛)
- 30日 SPACE-21 幹事会+全国協議会(岐阜グランドホテル)

2017.10

- 1日 運営基盤戦略会議(岐阜グランドホテル)
- 5日 プライバシーマーク現地審査(神奈川)、ジャグラコンテスト専門委員会議
- 6日 プライバシーマーク審査員新JIS説明会(日印産連)
- 7日 日本自費出版文化賞表彰式(アルカディア市ヶ谷)→中村会長・沖専務
- 10日 プライバシーマーク現地審査(秋田)
- 11日 プライバシーマーク現地審査(秋田)
- 13日 POD 部会見学会(都内~神奈川)
- 14日 ジャグラコンテスト第二次審査
- 18日 日印産連ステアリングコミッティ→中村会長、小森会、マーケティング委員会+マーケティングセミナー(大阪・JPビル)
- 19日 広報委員会、日印産連専務理事連絡会議→沖専務
- 20日 プライバシーマーク現地審査(長野)
- 25日 プライバシーマーク審査会、東グラ理事会→沖専務、日印産連知的財産部会→増田理事
- 26日 印刷図書館70周年記念誌出版パーティ(如水会館)、JAGAT 理事会・大会(椿山荘)
- 27日 プライバシーマーク現地審査(新潟)、プライバシーマーク現地審査(都内)
- 28日 九州地協幹事会(福岡)→中村会長

2017.11

- 2日 プライバシーマーク現地審査(広島)
- 6日 プライバシーマーク現地審査(北海道)
- 7日 日印機協総会(如水会館)→中村会長・沖専務ほか
- 10日 理事会(東京ドームホテル)、全国協議会(東京ドームホテル)
- 11日 全国協議会(日本教育会館)、役員推薦委員会(日本教育会館)
- 14日 東グラ理事会→沖専務
- 15日 日印産連価値創出委員会→沖専務
- 22日 近畿地協総会(兵庫)→中村会長
- 24日 環境委員会

編集後記

個人情報保護法の改正に伴い、近くプライバシーマーク付与の規格であるJIS Q 15001が2017年版として10年振りに改定される。今後の予定では、新JISが公表されて6か月後から適用される。但し、現在更新を終えている事業所は2年間(次回更新時まで)は現行のPMSを有効とする。変更のポイントは、他のマネジメントシステム(ISO9001、14001、27000等)との整合性を図るISO/IEC専門業務指針附属書SLとの両立、併せて改正法との整合を図るというもの。また、用語と定義も改正法と統一される(個人情報、個人データ、保有個人データ、要配慮個人情報、匿名加工情報)。なお、プライバシーマーク付与の審査内容は大枠において変更は少ないとされているが、番号法、改正個人情報保護法、4ガイドラインの制定と情勢が大きく変化しているため、個人情報の取扱いには十分な配慮が求められる。 (S生)

2017年10月号

ジャグラBB HOT NEWS

今月のおすすめ番組

最新情報はWebでチェック! <https://www.jagrabb.net>



ジャグラ文化典岩手大会講演「震災体験と復興の軌跡」

2017年6月に開催されたジャグラ文化典岩手大会において、東日本大震災で被災された街大船渡印刷・熊谷雅也社長にご講演いただきました。ジャグラBBではその模様をノーカットでお届けします。(時間:54分/無料配信)



映像で学ぶ印刷のすべて【基礎編】【各論】(全38巻)

新入社員から中堅社員までを対象に、映像で印刷業界のすべてがわかる「印刷大全」。1番組あたり15分から30分程度の内容にまとめているので、必要な部分だけを抜き出して見ることができます。(時間:各巻15~30分/会員限定番組)



【シリーズ】ワザコレ! No.3 投稿者:㈱原田シール印刷所

「ワザコレ!」は「技」をテーマにジャグラ会員から投稿映像を集め、ジャグラBBで配信・共有することで、作業効率アップを目指すプロジェクトです。今回は三多摩支部の㈱原田シール印刷所からの映像をお届けします。(時間:2分/無料配信)



【シリーズ】知らないと損をするWordの仕事術 No.01~02

オフィスワークに欠かせない文書作成ソフトWordについて、仕事の効率アップにつながるワンランク上のテクニックを紹介する新シリーズが登場! 影山史枝講師がトピックごとにわかりやすく解説します。(時間:各巻5分/会員限定番組)



【シリーズ】事業承継対談 Vol.6 ㈱トライス岸徹社長/㈱ウイング松下忠社長

マーケティング委員会「事業承継研究事業」による対談シリーズ第6弾。今回はジャグラ会員のトライス岸社長、ウイング松下社長をお招きし、自身の会社の事業承継事情についてお話を伺いました。(時間:36分/会員限定番組)



【シリーズ】知らないと損をするExcelの仕事術 No.01~10

DTPソフトは使いこなしているけれど、Excelは基本機能しか知らない...そんなDTPオペレーター必見の新番組が登場! 仕事で使えるExcelテクニックを影山史枝講師が伝授します。(時間:各巻2~10分/会員限定番組)

ワザコレ! 動画募集のご案内

ジャグラBBでは「ワザコレ!」シリーズで配信する投稿映像を募集しています。みなさんの会社のノウハウを動画で紹介してみませんか? 採用された方には1000円相当の商品券を進呈します。ふるってご応募くださいませ。

ワザコレ! 動画応募方法

簡単な内容説明、動画の長さ(撮影編集済の場合)をご記入の上、ジャグラBB企画部会までメールでご連絡ください。追って担当者よりご連絡します。
 応募先メールアドレス: jagrabb@jagra.or.jp

スマホで撮影した動画も受け付けます!



ジャグラBB 新規ID登録がお済みでない方は、下記よりお手続きください
https://www.jagrabb.net/app_mail.php



月刊
グラフィックサービス
No.791
2017
GS10